



## コロナ禍で加速？ ～四日市から見えてくる祭り事情～

私の住む四日市の市街地には、8月第1週に大四日市まつり、10月第1週には諏訪神社の例祭である四日市祭と2つの祭りがあります。どちらも有名な大入道を含む山車が練り歩くなど行列を含み、多数の市民が観覧する祭りです。そのため私の住む町にも、幸か不幸か山車があります。3年前、私は山車の打合せを欠席したところ、次の年からの実行委員長に任命されてしまいました。逃げるわけにも行かず、山車の先頭で、拡声器をぶら下げ音頭を取り、歩くハメに陥っています。

山車の準備は、4月に2つの祭りのスケジュール、予算等の審議から始まります。続いて人選で、山車を操る曳方、からくり人形を操る人形方、お囃子を奏でる囃子方などの専任です。最近では、町の人だけでは充足出来ない場合もあり、助っ人をお願いしなければならないことも…。私が子供のころの様に人が多すぎた時代とは大違いの様相になってきました。街中の電線を切断させないために、山車が通るたびに電線を下から棒で押し上げる重要な作業も

あります。真夏にずっと上を向いて棒を上げ下げするのは大変ツライ作業ですが、若年層が少なく高齢層の仕事になる場合もあるのです。

祭り当日は町練りから始まります。昼食を挟んで山車行列に合流し、全行程を終えると夕方。この頃には汗でびしょり、歩き詰めで足も痛く、号令をかける役目の私は喉がやられてガラガラ声になる、そんな一日です。

私の町は、子供のときから祭りのキャストとして、諏訪太鼓を叩き、山車を曳く。これが当たり前で、何の違和感もありませんが、好きで自ら率先してやっていたわけでもありません。待ち遠しいわけ



でもないし、ましてや血沸き肉躍ることもありませんでした。問題も山積みで、山車の曳方は慢性的な人員不足。人形方も「子供の人形が習字を書いて、その字を菅原道真公が見てお褒めになる図」がテーマであるため、人形の操作が難しい。その上、狭くて暑い屋台の中に5人も入るから大変で、なかなか後継者が見つかりません。更には、山車の修理や人形着物の更新、祭りの運営、山車蔵の維持管理といろいろな費用がかかります。山車の将来に不安を感じながら、それでも祭りは毎年あり、山車は元気良く参加しているのです。

そんな中、去年はコロナの影響で突然中止に。今年も大四日市まつりは中止になりました。私は祭りを必ずしも残さなければならぬ文化だとは思っていません。それでも夏になると不思議で、「もうすぐ祭りだ、準備しないと」「山車の掃除はいつ？」と気になってしまいます。消極的ではありますが、なんとかして祭りが存続してくれば・・・と想う今日この頃です。皆さん、地元のお祭りどんな感じですか？



### 測ってみよう! 探検隊 Vol.75

明るさが同じでも光の量が違う。  
LED化における研究の問題点。

当社の子会社である青のり陸上養殖工場 (MMB) では、青のりの胞子を採取するためにインキュベータを使用しています。そのインキュベータを増設した際、従来のものとは母藻や胞子の挙動が違うことで大変困りました。新旧の違いは、蛍光管とLEDと光源が異なっていたことから、小型LEDを増設したところ、問題が解決。培養関係等の研究では、蛍光管より見た目の明るいLEDが必要となることがわかりました。直接的には光量差が原因だったようで、今回は、身近なデスクライトで光量子を測ってみることに。結果、同じ明るさに見える蛍光管とLEDでも、波長特性や光の強さ、広がり方も異なり、光量子に違いがありました。過去の論文等のデータは、蛍光管を使っている場合が多いと思われる。今後、そういったデータの再現性を確認する場合には、光量子や発光源と対象物の位置などの確認も必要かと。

	光量子計数値 (μmol/m <sup>2</sup> ・s)		比較
	蛍光管	LED管	
A: ライト直下20cm	70	62	88.50%
B: ライト直下50cm	19	14	73.70%
C: B地点から横へ20cm	11	9	81.80%

※照度計で明るさ (ルクス) も測定。結果は省略しています。  
※光量子計 apogee 製 MQ-100 使用

### セミナーご案内

#### 第2回 WEBセミナー 開催のお知らせ

労働安全衛生法に係る特定化学物質障害予防規則の改正に伴い、規制される溶接ヒュームについて既に測定オフアが増加しています。現在、溶接作業を行われている作業場につきましては、経過措置により令和4年3月31日までに実施が必要のため、あと半年となってしまいました。今回のセミナーは、法の解説ではなく、弊社が測定機関として今まで測定してきたデータからわかることや、実施済みの事業所様の取り組みなどを中心とした、一歩踏み込んだ内容での開催を企画中です。第1回同様、ZOOMでの開催とし、申し込み方法等詳細は今後弊社HPや来月の本紙等でお伝えいたします。

開催日時 2021年10月14日 (14時～)

法改正等の詳細は厚生労働局 三重労働局 HPにてご確認ください。

[https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/tokka\\_arc.html](https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/tokka_arc.html)

金属アーク溶接等作業を継続して屋内作業場で行う皆さまへ

#### 金属アーク溶接等作業について 健康障害防止措置が義務付けられます

厚生労働省では、「溶接ヒューム」について、労働者に神経障害等の健康障害を及ぼすおそれがあることが明らかになったことから、労働安全衛生法施行令、特定化学物質障害予防規則 (特化則) 等を改正し、新たな告示を制定しました。

改正政省令・告示は、**令和3年4月1日**から施行・適用します。  
※一部経過措置があります (令和4年4月1日施行)

### 社員プチコラム

#### 野呂 啓史 (環境事業本部 コーポレート本部)

歴史を創るって楽しい。というのも昨年、青のりの陸上栽培を行う子会社「南伊勢マリンバイオ」の立ち上げのために出向し、1年半が過ぎた。生物を扱う自然相手の商売なので年中不安と悩みは尽きないが、それでもなんとか軌道に乗ってつある。新築の匂いの工場は、いつのまにか青のりの香りに。会社がゼロから生まれる時ってこんな感じで社歴を重ねていくのだな、こうやって自分が作った仕組みが受け継がれていくのだな、とまるで歴史番組の主人公になったような変な感覚になっている。2年前は環境測定していたのに、あれ?なぜか今は青のり職人?



### 編集後記

今年の夏はオリンピックが開催されたことで、こんな中でも日本中に元気を届けてくれたように感じています。今年も日本中のお祭りは中止でしょうね。私の住む町も祭りがありませんが、人手不足、後継者不足はもちろん、子供たちが祭りに接する場がなくなったことで、これで伝統文化が守られていくのだろうかとちょっと不安を感じています。何かと大変なのですが、良き日本の文化を守るにはどうしたらいいでしょうね。(みっちー)